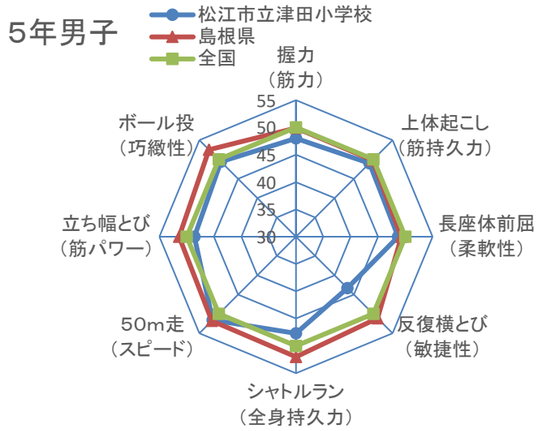
【資料1】

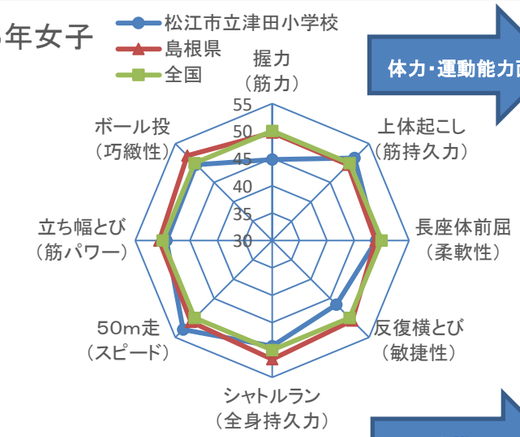
令和5年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和6年3月29日

松江市立津田小学校

（1）令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（全国平均を50としたときの比較）

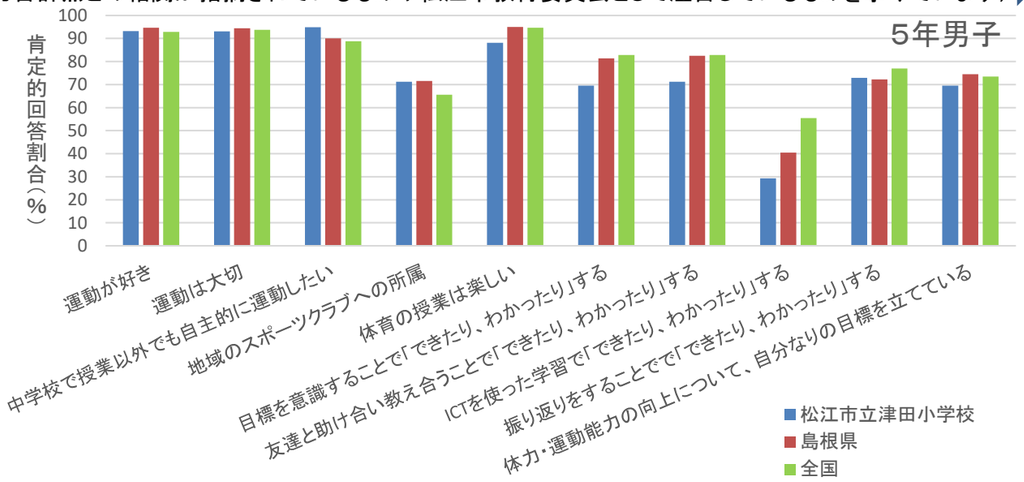


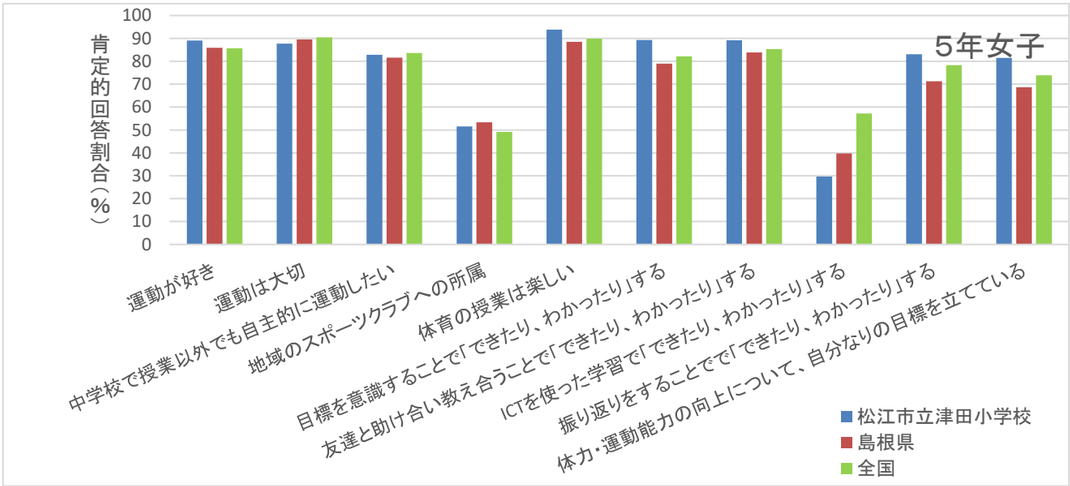


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





（2）調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国（偏差値）との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	−2.0	−1.0	−1.3	−6.7	−2.3	1.6	−1.4	−0.6
女子	−5.2	1.3	−1.0	−3.4	−0.7	3.0	−0.7	−0.4

【−5p以上】	【−5〜−2p】	【−2〜0p】	【0〜2p】	【2〜5p】	【5p以上】

弱み ← → 強み

②意識面　全国（割合%）との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	0.3	−0.7	6.1	5.6	−6.6	−13.3	−11.6	−26.2
女子	3.4	−2.7	−0.8	2.4	4.0	7.1	3.9	−27.5

	振り返りをすることでで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	−4.1	−4.0
女子	4.8	7.6

【−7%以上】	【−7〜−3%】	【−3〜0%】	【0〜3%】	【3〜7%】	【7%以上】

弱み ← → 強み

（3）令和6年度の方針【学校全体での取組】

◯体育・保健体育授業の工夫・改善（年間を通した取組や重点化する領域・指導内容等）
・本校の強みは、50m走（スピード）である。昨年度から続けている8秒間走や普段の授業の最初にアップとしてサーキット的なトレーニングを来年度も引き続き8秒間走やアップでのサーキットトレーニングを行う。
・本校の弱みは、筋力や敏捷性、全身持久力である。そのため、来年度はこの3点の強化に重点的に取り組んで行く。
・5種目歩走に年間を通して取り組むことで、全身の瞬発力や腕支持の筋力などを育成を図る。
・縄跳びにも力を入れて取り組むことで、全身の持久力を高めていく。具体的には、縄跳びカードや検定など意欲的に取り組むことができる環境設定などをする。
◯体育授業以外の活動（学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等）
・日常的に、校庭や体育館で体を動かし遊ぶ児童を増やす。
・ケンパゾーン・階段一段とばしゾーンを設置し、日常的に体力づくりを行う。
・各学級に発達段階に応じて遊び時間用のボールを配布し集団でボールに触れる機会を保障する。
・運動することが楽しく、喜びを感じる子どもを育てていくために、運動に自主的に取り組む子どもを認め、ほめる構えを大切にしていく。
・体つくりの一環として、朝のミニトレーニングを行い、視知覚や体幹等を鍛える。
・行事などと連携をはかりながら、朝の時間にダンスを取り入れることで、全身の持久力や柔軟性を高める。